

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第40号—

令和3年2月8日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

EM団子の投入

総合的な学習で環境問題に取り組んできた4年生は、平戸北部EM運動推進協議会の皆さんの御指導のもとEM団子を作り、1月29日（金）に中津良川に投入させていただきました。中津良川ホタル保存会の松本会長様にもお越しいただき、ホタルの飛び交う豊かな中津良川に対する地域の皆様の思いや願いをお話していただきました。これからも美しい故郷を守る心を育てていきたいと思っております。



入学説明会・一日入学

2月4日（木）に「入学説明会」を実施しました。次年度の入学予定者は22名です。保護者の皆様に説明会を実施している間、新入生たちは、「一日入学」として、5年生と1年生の計画のもと学校施設を見学したり、一緒にゲームをして遊んだり楽しいひと時を過ごしました。コロナ渦の中、内容を工夫して交流できました。いつも甘えん坊の1年生も、かわいらしい新入生の前では、お兄さんお姉さんぶりを発揮し頑張っていました。



新型コロナウイルス感染症対応における各種行事の開催について

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、長崎県内に発令されていた「特別警戒警報」も昨日解除されましたが、依然として全国的に感染拡大が続いていることを受け、10都府県においては、引き続き「緊急事態宣言」が延長されることになりました。年始には平戸市においても感染が確認されており、津吉小学校においても気を緩めることなく、その対策を強化しているところです。感染拡大を予防するために、下記のように対応を進めたいと思っております。

○例年2月中旬に開催していた「PTA 理事会」を開催せず、書面での審議・報告とする。

・各専門部長と各学年委員長は、「活動報告」を文書で教頭先生に提出する。

・各部からの報告事項は、3月初めに保護者の皆様へ書面にて報告する。

○例年3月初旬に開催していた「学校保健委員会」を開催せず、書面での審議・報告とする。

○3月の「卒業式」は、来賓の皆様の招待を見合わせるとともに、挨拶等も文書化し時間を短縮する。

お知らせ

○西日本読書感想画コンクールで、橋口海夏翔くん（1年）が、長崎県審査会で「佳作」、西日本審査会で「入選」を受賞しました。おめでとうございます。

○株式会社AIG ジャパン・ホールディング様からタグラグビーキット5セットの寄贈を受けました。

○「広報平戸」2月号に、杉村寧音さん（4年）が紹介されています。【裏面に掲載】

Chase a Dream
夢に向かって羽ばたけ 47



仲間と切磋琢磨しながら
そろばんの珠をはじく指先に全集中

南

部地区にある前津吉公会堂で、マスクの奥から覗く真剣な眼差しで、そろばんの珠をはじく姿が凛々しい女の子が、今回紹介する津吉小学校4年の杉村寧音さんです。

杉村さんは、小学校入学時

に、母親からすすめられ、そろばんを習い始めました。一人では心細いということで、近所の同級生の友達と一緒に習い始めたこともあり、中部地区と南部地区で行われているそろばん教室には、友達と一緒に通つて

います。

昨年の7月には、珠算で見事1級に合格。12月に行われたそろばん大会でも小学校高学年の部で上位に入賞するほどの実力の持ち主です。

「最初は、そろばんの珠をはじく時に他の珠に当たってしまったたりして難しかったけど、慣れてきたらスムーズにできるようになりました。今、特に気を付けていることは、コマのつけ忘れなど細かいところにも注意して、なるべく早く丁寧にできるように心掛けています」と話す杉村さん。

そろばん教室で杉村さんを指導する福田先生は「寧音さんは、明るく負けず嫌いな性格でメリハリがつく子なので、遊ぶときは遊ぶ、練習するときは集中して練習するなどしっかりとっていますね」と目を細めます。

今後の目標について尋ねると、「珠算だけでなく、得意な暗算やフラッシュ暗算でも、上の段位をとって大会でも優勝できるように、これからも頑張りたいです」と話してくれました。

応援団からの一言

『やりたいことを続けて』 母・珠美さん

小学校入学時に、近所のお友達とそろばんの体験をさせたら、興味をもってくれたので定期的に習うようにしました。本人は、学校が終わってから通うため、きついと言うときもありましたが、やめたいと言うことはないので、親としても本人がやりたいことを続けられるように、これからも支えていこうと思います。



津吉小学校
4年
杉村 寧音 さん
堤町

学校の勉強では、そろばんを習っているということもあり、算数(特に計算問題)が得意。